

大城ひかるのベトナム



通信

-18-

シンチャオ
(Xin chào)
おきなわ

日本語教師は、外国人に日本語を教えるのが仕事なのですが、実際にはやることはさまざまです。日本語の授業の合間に日本文化の授業があったり、身だしなみやマ



若い人でにぎわったジャパンフェスティバル会場
(筆者撮影)

ナーを教えたりもします。一口に日本文化と言っても、伝統文化だけではなく、日本で生活するために必要な生活文化、日本の歴史や日本事情、働くときに必要な仕事(会社)文化などもあり、日本人同士で話をしていても「文化」のところが違っていることが少なくありません。こちらにきた当初、授業が一番困ったのが「日本文化について教えてください」と言われることでした。そのたび「文化の授業って何をやればいいんでしょうか?」と先輩教師に聞きまくったものです。何回か経験して分かったのは、ベトナム人同僚が「日本文化」というときは、富士山だろ

日本文化の授業に戸惑う

うが、桜だろうが、ゴミの分別だろうが、日本の話であれば何でもOK。ですから、私は沖縄の歴史やマリンスポーツ、歌を紹介しています。沖縄の風景はベトナムの中部海岸沿いによく似ているので、リゾートとして開発が進むダナン、クイニン、ニャチャンあたりから来た学生がクラスにいると盛り上がり、沖縄はハワイと同じく年間1千万人の観光客が来ると聞いた時の学生の驚きも楽しくて、何度もこの話をしています。とは言え、正直、今でも文化の授業は難しいと感じます。ベトナム人に限らず東南アジアの人々がイメージする日本は春の桜、夏の花火や盆踊

り、秋の紅葉、冬の雪といった風景や最先端技術、アニメや漫画といったところでしょう。沖縄はどれにも当てはまりません。「日本の一番北はどこですか」と聞くと、「北海道」と即座に答えて返ってきますが、「じゃ、一番南は?」と聞くと無言。とても残念でなりません。今年2月下旬、第8回ジャパンベトナムフェスティバルがホーチミン市で開催されました。コロナの渦中にあつた一昨年の第7回はちよつと寂しい印象でしたが、日越外交関係樹立50周年記念行事となる今回は人気アーティストHK T48のライブ、ドラえもん・名探偵コナンなど人気キャラクターのステージショー、阿波踊りや和太鼓などの伝統芸能と盛りだくさんの内容で、出展者数も過去最高、来場者数も過去

最高の延べ48万5000人を記録したそうです。会場ではコスプレ世界大会ベトナム予選に参加する若者が暑さをモノとせず、あちらこちらで撮影会を行っていました。わが社のブースにも700件を超える問い合わせがあつたそうで、日本への関心の高さは相変わらずです。栃木・新潟・長野・福島・大分の各県も出展して特産品を売り込んでいました。私はベトナム各地で首里城TシャツやオリオンビールTシャツなどを着て勝手に沖縄広報大使を名乗っているのですが、各県のブースを見て沖縄県もベトナムに目を向けて欲しいと少し寂しくなりました。同時に、桜や富士山だけでなく、日本にはもっと多様な文化があることも伝えたいと思いつつながら、私は会場を後にしたのでした。